

別紙様式（第3条関係）

<p>研究基盤センター共用機器等利用料の免除申請書</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>研究基盤センター長 殿</p> <p style="text-align: right;">所属・職： 申請者氏名： 印 電話番号： E-mail：</p> <p>下記の通り、共用機器等利用料の免除を申請しますので、よろしくお取り計らいの程 お願いします。</p>	
学部・学科	
科目名・科目番号	
受講予定者数	
操作予定者 (TA など)	
利用機器	
利用概要	記入例：海水中の Ca 分析のため、原子吸光光度計を使用
利用日時	記入例：1月16日(火) 14時～17時
その他 (ご要望など)	

裏面の注意事項を参照の上、ご記入をお願いします。

(センター記入欄)

受付番号：EDU-19  
 操作トレーニング： 要 ・ 不要  
 受講者数：  
 操作人数：

<免除申請に関する注意事項>

- ・免除希望者はあらかじめ利用計画についてセンターの職員と調整をしてください。
- ・申請の際は、本申請書及び学生実験等の科目のテキストのコピー（共用機器を利用する箇所を、付箋等で図示）を、利用する1か月前までにセンターへ提出してください。
- ・TAなど申請者以外が利用する場合は、利用予定者の欄には該当者の名前全員分を記入してください。
- ・利用日時の欄には、利用する日時及び共用機器を詳細に記入してください。

<承認後の利用に関する注意事項>

- ・承認された場合は、学生実験用のカードキー（無料）を発行しますので、ご利用ください。カードキーを破損又は紛失した場合は、実費額3,000円弁償して頂きますので、取扱には十分ご注意ください。
- ・操作に不安がある場合は、学生実験で利用する前に操作トレーニングを行いますので、ご相談ください。
- ・免除申請書に沿って利用してください。免除申請書から逸脱した共用機器の利用が認められた場合は、その利用を中止させるとともに、今後の申請を認めないことがあります。
- ・発行したカードキーは、学生実験終了後速やかに返却してください。返却時には、受講者数及び操作人数の報告を併せてお願いします。